

第16回北斗市地域公共交通活性化協議会 書面開催結果

議案送付日 令和6年1月17日

○議件

1 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の実施について（協議）

(1) 書面協議結果

承認する……23名 承認しない……0名

(2) 意見

- ・巡回ワゴン実施事業者として、輸送量目標の2人を2路線で下回った事、申し訳なく思います。今後また利用者向上のため、路線の見直しと周知の方法などを協議したいと思います。
- ・収支率が目標に届かなかった事があるにせよ、事業としては適切に実施されたと考えます。今後の改善として、より乗降しやすい路線となるよう設定を見直す事も示されており、評価できると考えます。
- ・巡回ワゴンの実行は、地域の交通弱者と言われる高齢者にとって、非常にありがたい交通手段です。事業計画が適切に実施されたことは評価できますし、さらなる改善点についても申しぶんありません。この事業は、何といたっても地域における交通実態を十分把握し、対処することが重要な要素になります。身内や友人による相乗りをはじめ、医療機関やディサービスなどの送迎が普及し、軽微な買い物や用事は済ませることができるようですし、過疎地には民間の移動販売車が定期的に訪れ、利用されています。

巡回ワゴン車利用低迷の要因は、周知不足というよりも、こうした事情によるところが大きいはずです。

高齢者の運転免許証の返納は、少し鈍くなっているようですが、今後も間違いなくつづくでしょう。ただ、高齢化率も追いかけて上昇し、また、生活上、手放すことが出来ない高齢者がいるのも現実です。市の人口が減少する中で、高齢者の数は、施設入所や自然減、また市外への移住などによってより減っていると考えられます。高齢者に限って、その数の推移と比較するのも必要なのかもしれませんが、路線バスの便数の変更など未知数な部分もあり、ひきつづき検討を重ねながら存続させることを望みます。
- ・此の度、利用者の乗降場所がフリーとなった結果、町内会としては利用状況の把握が出来なくなった（以前は主に茂辺地支所にて大まかな把握が出来たので）。現状では不便であるという意見は余り聞かれない（各人は個々に対応しているのでは？サービス供給側と利用者側の要求との乖離が大きいのではないか）。
- ・昨年と比べて、輸送実績が上がっているのは皆さんの努力の結果として、評価いたします。

高齢者に対するアンケート結果の内容がわかりませんが、市民に寄り添う運転形態を模索されることを期待しております。
- ・高齢者の利用が低迷していると記されているが、高齢者に対する本事業の認知状況に関してどのようになっているか、実際を知りたい。利便性の向上も必要だが、市民に対して効果的な広報についても検討するべきだと思う。

○その他

- ・今後も、他の交通機関と連携をして、待ち時間を減少し、利便性を向上して欲しい。
- ・茂辺地石別ラインに需要がありそうなのがデータに出ていましたので需要があるところを押していくのが良いのではないのでしょうか。